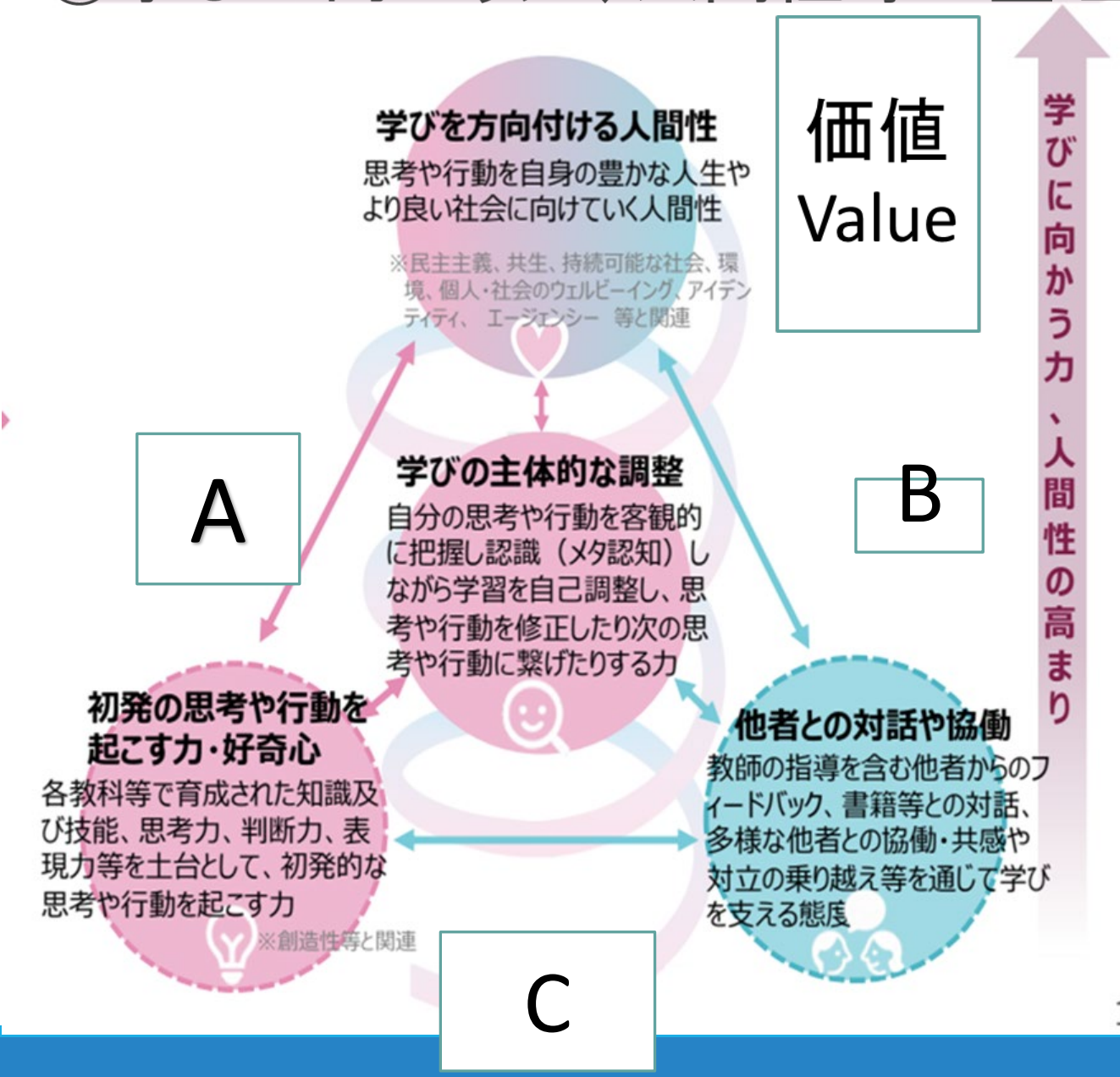
令和７年４月２５日
教育課程企画特別部会
参 考 資 料 １ － ５

第6回意見のための参考資料

秋田喜代美（学習院大学） 2025/04/25

①学びに向かう力、人間性等の整理



社会情動的スキルとは（OECD，2015）

A　目標の達成

- 忍耐力、自己調整、目標への情熱、信頼性

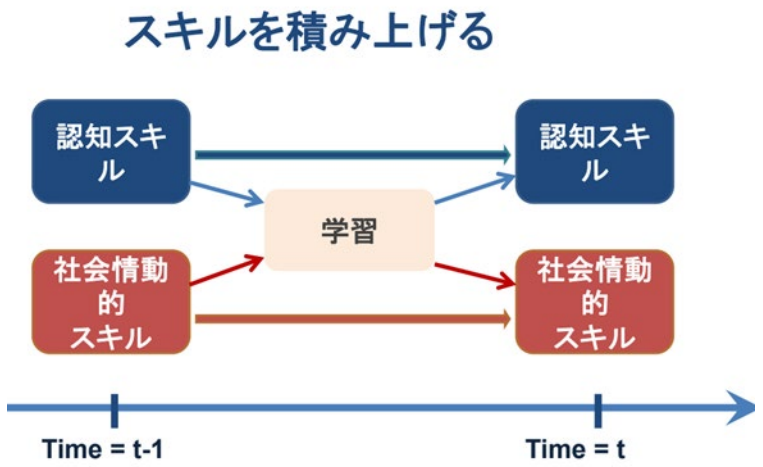
B　他者との協働

- 親密性、尊敬、親切・思いやり、援助、気遣い

C　感情のコントロール

穏やか、沈静、楽観主義、 自信

螺旋的に積みあがっていく



- Aの目標にむけての達成過程とBは一体的相互的に学習の中で行われることが必要。そのための文脈、状況設定が学習において重要
- A　初発の行動を起こす興味関心・好奇心から,学びの主体的な調整への過程において、調整のの方略・方法についての指導、足場架けによる習得が必要である。

丁寧に見る（味方の精緻化）→気づき

→関与（engagement,　commitment)

→より具体的な課題意識からの関与（粘り強く取り組む）

こうしたプロセスを明記することが必要ではないか。

- 価値や態度の育成に対して、教師は投錨anchorの役割を果たし、仲間との協働がその調整のモデルやモニタリングの機能を果たす。

②「見方・考え方」「中核的な概念・方略」「資質・能力」の関係

教科の本質・原理的考え方の習得を目指すことを目標として明記することが重要

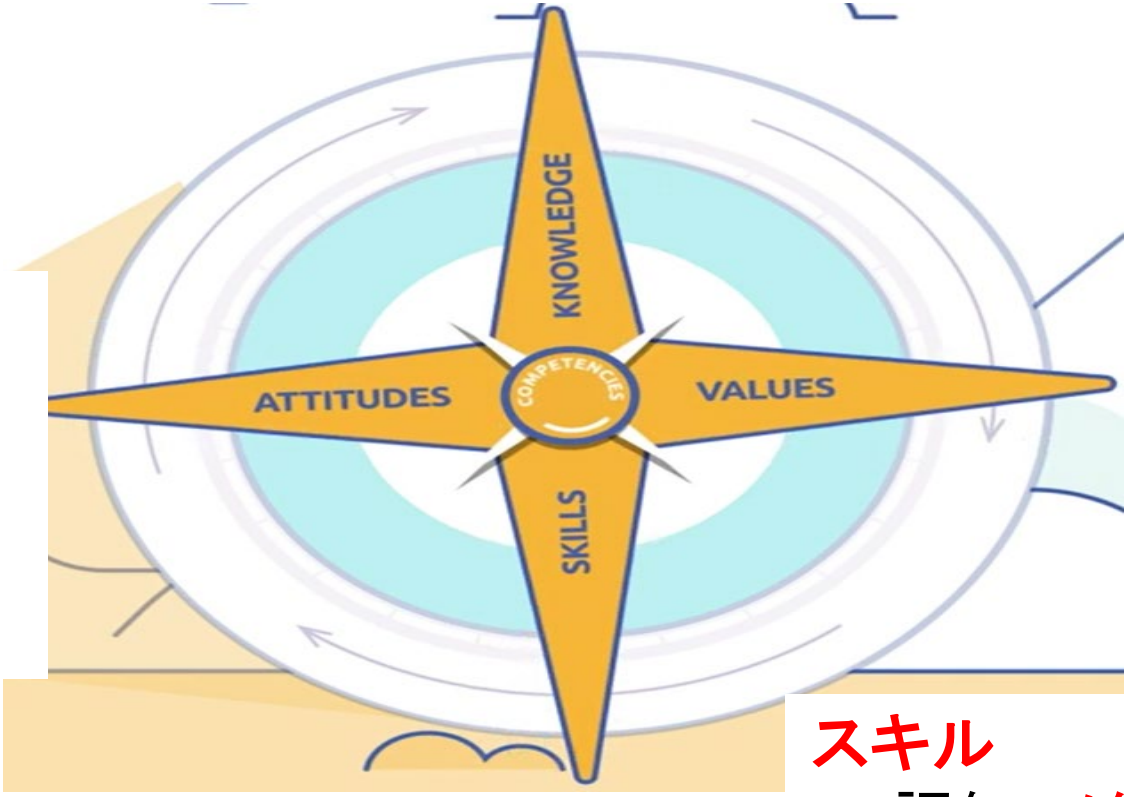
重要な概念Big Idea

見方方・考え方　Epistemic知識（認識論的知識）

知識の深い理解とと思考力判断力による複雑な問題解決のタテ・ヨコの関係に対して、それらをつなぐ各教科の見方・考え方、ナナメの関係として育っていく。その発達的な方向を明記できるとよいのではないか。

コンピテンシー　スキル、態度、価値を含む

態度・価値観
- 個人レベル
- 対人レベル
- 社会レベル
- 世界レベル

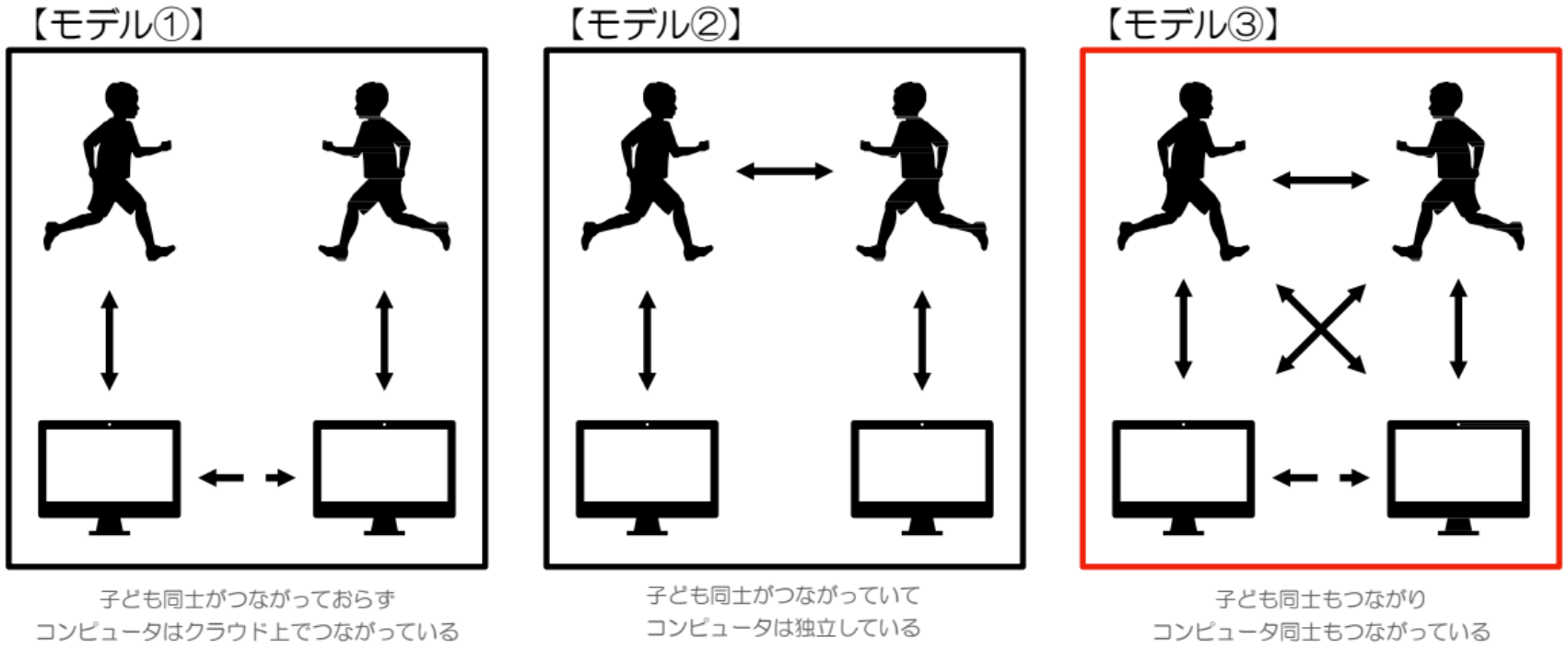


知識
- 教科知識
- 教科横断的知識（学際的知識）
- Epistemic知識（認識論的知識）
- 方法論的知識・思考パターン
- デザイン思考・システム思考

スキル
- 認知・メタ認知スキル
- 社会情動的スキル
- 実践的・物理的スキル

③デジタル学習基盤と「個に応じた指導」の在り方について

リアル・バーチャル空間での子どものICTとの関わり
（宮島、２０２４、秋田他、２０２５）よりI



目的や状況に応じた的確な使い分けの認識が必要